

タイトル 「古代織り研修会」
日付 ①令和4年5月28日(土)
②令和4年6月25日(土)

場所 県立考古博物館研修室(播磨町)
申込み 各回 10名先着
参加費 800円
持ち物
・マスク ・タオル ・昼食
(館内にカフェ、近隣にパン屋、コンビニ等あり)
服装 ・軽装



内容

南あわじ市の倭文地区では、5世紀後半ごろ「倭文部民^{しとおりべ}」と呼ばれる織物に秀でた集団がいて、当時の大和政権の保護下で「倭文布^{しずおり}」を作り、献上していたと記録が残されています。倭文布はコウゾやカラムシなどの植物繊維を紡ぎ、糸にして、藍などの染料で染色していたとされています。『織物の日本史』(遠藤元男)

県立考古博物館では、古代の生活様式の再現に取り組み、考古学の普及に努めており、今回は「織物」をテーマに、昔の生活様式を体験してみましよう。

スケジュール

- 8:30 南あわじ市役所 第二別館前(集合)
住所:南あわじ市市善光寺22-1
*マイクロバス(乗合)
- 9:45 県立考古博物館(播磨町) 到着
- 10:00 古代織り体験:午前の部
- 12:00 昼食
- 13:00 古代織り体験:午後の部 (早く終われば館内見学)
- 15:00 県立考古博物館 出発
- 16:30 解散

申し込み・問い合わせ

南あわじ市埋蔵文化財調査事務所

電話 42-3849 FAX 42-3806

メール maizoubunkazai@city.minamiawaji.hyogo.jp

備考 コロナウィルス感染症対策のため、急遽、中止または延期する場合があります。

主催 南あわじ市歴史を活かしたまちづくり実行委員会